

## FUKUUZU タイムス VOL.1

2022 年度 1 次隊

派遣国:ウズベキスタン

職種:ラグビー

氏名:森谷理央



### ●自己紹介

今年7月末よりJICAと日本ラグビーフットボール協会の共同事業によって派遣して頂いております森谷理央と申します。出身は郡山市です。今後、数回に渡って、現地の様子や活動、または文化などを福島県民の皆さんに発信して行きたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

### ●そもそもウズベキスタンってどんな国なの？

「ウズベキスタン」と聞いて皆さんは瞬時に地図が思い浮かびますか？ウズベキスタンは中央アジアと呼ばれる地域にあり、独立する1991年迄、旧ソビエト連邦に属していました。人口は約3200万人程で、面積は日本の1.2倍程です。四季があり、宗教は殆どがイスラム教徒ですが、ロシア正教信者もいます。民族はウズベク人、ロシア人、タジク人、タタール人の他、多数の民族が共存していて、街行く人たちの顔も様々です。言語はウズベク語が使用されていますが、旧ソ連時代の名残から、ロシア語が公用語となっています。

### ●主な宗教はイスラム教

国民の殆どがイスラム教徒ですが、そこまで戒律は厳しくなく、飲酒をしている方も割といます。女性は、ジーンズやスカートなど現代的な服装の方も多くいますが、ヒジャブ(顔や頭を覆う布)を身に着けている方もいます。街中には右の写真のようなモスクが多くあり、毎週金曜の夕方には信者の方が多く訪れます。お祈りの頻度は個々人に拠るらしいです(現地の友人は最近あまりお祈り行ってないんだよなぁと漏らしていました)。夕方5時頃にモスクのスピーカーから聖典コーランの誦読が流れるのですが、何とも言えない郷愁が街中を包みます。



見えにくいかもしれませんが、向かって右がキリル文字によるロシア語、左がラテン文字によるウズベク語で書かれています。



次回は私の住む首都のタシケントの様子についてリポートしますので宜しければご覧ください。